

*SBS*ホールディングス株式会社

*2008*年12月期決算説明会

2009年2月27日

1. 2008年12月期 決算概要

2008年12月期連結業績



(単位:百万円)

	2007年12月期		2008年12月期			
	実績値	構成比 (%)	実績値	構成比 (%)	前年比 (%)	増減額
売上高	147,097	100.0	139,405	100.0	△5.2	△7,691
営業利益	6,794	4.6	3,325	2.4	△51.0	△3,468
経常利益	7,901	5.4	3,995	2.9	△49.4	△3,906
当期純利益	4,054	2.7	960	0.7	△76.3	△3,093

特別損益の内訳



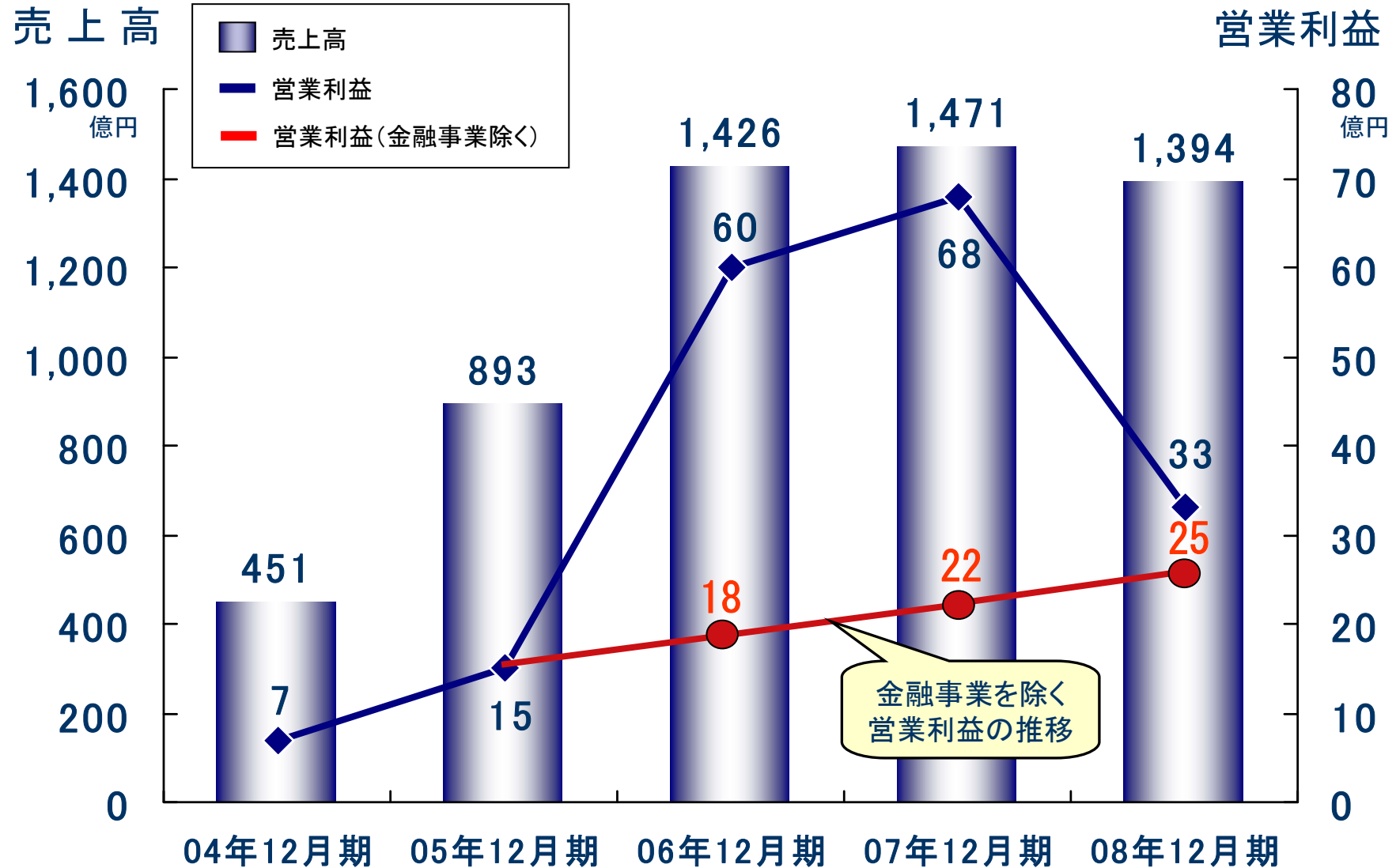
(単位:百万円)

特別利益 項目	金額	備考
固定資産売却益	1,416	環境変化等で物流不適となった事業用資産の売却を実施 (T L:平和島、日本貨物急送:横浜幸浦)
その他	563	
特別利益合計	1,979	

(単位:百万円)

特別損失 項目	金額	備考
投資有価証券評価損	1,049	株式市場の低迷影響による株価下落に伴う再評価実施
減損損失	1,056	子会社の営業所において当期実績および今後の市場環境から収益回復可能性を見直し、減損処理を実施
事業撤退損	459	不採算事業からの撤退を実施
その他	463	
特別損失合計	3,027	

売上高・営業利益の推移



セグメント別売上高及び営業利益



物流事業	マーケティング事業	人材事業	金融事業	その他の事業	消去又は全社	連結
------	-----------	------	------	--------	--------	----

2007年12月期（実績）

（単位：百万円）

売上高	116,347	10,918	5,671	13,239	922	—	147,097
営業利益	2,287	168	393	4,566	△284	(335)	6,794
営業利益率 %	2.0	1.5	6.9	34.5	—	—	4.6

2008年12月期（実績）

（単位：百万円）

売上高	114,523	10,294	6,895	6,608	1,086	—	139,405
前年比 %	△1.6	△5.7	+21.6	△50.1	+17.8	—	△5.2
営業利益	2,566	40	484	792	△261	(295)	3,325
前年比 %	+12.2	△76.1	+23.0	△82.7	—	—	△51.0
営業利益率 %	2.2	0.4	7.0	12.0	—	—	2.4

注) 当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2007年 12月期	2008年 12月期	増減額		2007年 12月期	2008年 12月期	増減額
現金及び預金	7,284	14,851	7,567	支払手形及び買掛金	9,958	8,473	△1,485
受取手形及び売掛金	17,822	16,348	△1,474	短期借入金	27,300	28,540	1,240
棚卸資産	8,486	6,097	△2,389	一年以内返済予定 長期借入金	3,620	5,145	1,525
不動産信託受益権	3,834	6,705	2,870	その他流動負債	7,731	7,965	234
その他流動資産	3,228	1,997	△1,232				
流動資産計	40,656	45,998	5,342	流動負債計	48,609	50,123	1,514
有形固定資産	55,524	55,447	△78	社債	5,050	120	△4,930
投資有価証券	5,118	2,911	△2,208	長期借入金	18,581	26,882	8,300
その他固定資産	4,615	4,133	△481	負ののれん	3,845	2,177	△1,668
				その他固定負債	10,394	10,588	194
固定資産計	65,258	62,491	△2,767	固定負債計	37,870	39,767	1,897
				負債合計	86,479	89,890	3,411
				純資産合計	19,434	18,599	△835
				(内 自己株式)	(△89)	(△788)	(△699)
資産合計	105,913	108,489	2,576	負債純資産合計	105,913	108,489	2,576

連結キャッシュフロー計算書



(単位:百万円)

	2007年12月期	2008年12月期	増減額
I 営業活動によるキャッシュフロー	2,801	6,147	+3,346
(内 税金等調整前当期純利益)	7,403	2,948	△4,456
(内 減価償却費)	3,620	3,674	+55
(内 負ののれん償却額)	△1,747	△1,427	+320
(内 利息の支払額)	△680	△737	△57
(内 たな卸資産の増減額)	△7,423	3,384	+10,807
(内 不動産信託受益権の増減額)	5,824	△3,046	△8,871
(内法人税等の支払額)	△3,620	△2,195	+1,425
II 投資活動によるキャッシュフロー	△9,153	△3,076	+6,077
III 財務活動によるキャッシュフロー	5,854	5,003	△851
IV 現金及び現金同等物に係る換金差額	△3	△0	+2
V 現金及び現金同等物の増加・減少額	△498	8,073	+8,572
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,243	6,754	△489
VII 現金及び現金同等物の期末残高	6,754	14,821	+8,067

2. 2009年12月期 業績予想

2009年12月期 連結業績予想



(単位:百万円)

	2008年12月期		2009年12月期		
	実績値	構成比 (%)	予想値	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	139,405	100.0	130,000	100.0	△6.7
営業利益	3,325	2.4	3,100	2.4	△6.8
経常利益	3,995	2.9	3,700	2.8	△7.4
当期純利益	960	0.7	2,200	1.7	129.0

2009年12月期業績予想(セグメント別)



物流事業	マーケティング事業	人材事業	金融事業	その他の事業	消去又は全社	連結
------	-----------	------	------	--------	--------	----

2008年12月期 (実績)

(単位:百万円)

売上高	114,523	10,294	6,895	6,608	1,086	—	139,405
営業利益	2,566	40	484	792	△261	(295)	3,325
営業利益率 %	2.2	0.4	7.0	12.0	—	—	2.4

2009年12月期 (予想)

(単位:百万円)

売上高	111,000	9,600	7,200	1,400	800	—	130,000
前年比 %	△3.1	△6.7	+4.4	△78.8	△26.3	—	△6.7
営業利益	3,100	40	250	250	0	(540)	3,100
前年比 %	+20.8	0.0	△48.2	△68.4	—	—	△6.8
営業利益率 %	2.8	0.4	3.5	17.9	—	—	2.4

注) 当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

【メ モ】

3. SBSグループの経営状況について

新たな3PL事業拠点が稼働予定



センター完成予想図



完成間近のトラックヤード

名称 野田物流センター
所在地 千葉県野田市
敷地面積 24,000㎡ (7,300坪)
構造 地上4階
延床面積 43,000㎡ (13,000坪)
竣工 2009年3月末

<用 途>

- ・ 川越センターに続く自社3PL事業拠点
- ・ 家具・生活雑貨小売業様向け物流サービスを展開する
- ・ 業務の本稼働は6月を予定
- ・ 初年度売上として10億円を見込む

■ TLロジコムで“デジタコ”、“ドラレコ”を
所有車輛、約1千台全てに導入済み

①燃料費削減、②事故の撲滅、③配送合理化、④環境対策

■ 09年度は、(株)全通で“デジタコ”約200台導入を予定



デジタルタコメーターとハンディターミナル



ドライブレコーダー

強烈的な営業開発の推進

SBS

経済・社会環境

世界的な景気の急落で
輸出急減と生産調整

深刻な不況により景況
の落ち込みは続く

雇用不安の拡大など個人
消費の冷え込み

荷主企業



企業行動

生き残りをかけ、あらゆる
コストの見直し

既存物流コストと効果
の見直し

物量減による倉庫の統
合や物流見直し

<新規営業チャネルの開拓>

ダイレクトメール

インターネット

アウトバウンドコールセンター

コネクションアプローチ

ダイレクトアプローチ

新たな需要

SBSグループ

新規営業専門部隊

「営業開発本部（本部長：鎌田正彦）」

をT Lロジコム内に設置し、新規受注

09年度20億円、12年度まで累計100億円獲得を目標！

■物流(3PL)提案部隊を増強し、受注拡大をめざす

お客様が何を求めているのか
問題点にズバッと切り込める人材を育成！

どうしたらコストを下げられるか！
受注から出荷リードタイムは適正か！
配送にムダやムラがないか！
ITは活用されているか！
サプライチェーンは機能しているか！

3PL提案営業実践研修

- ・5か月間で全9回の講座
- ・問題発見、課題解決、提案構築
- ・ケーススタディ総合演習

発見力
分析力
提案力
プレゼン力

3PLコンサルタント

2009年度は50名（前期25名、後期25名）を育成

有利子負債の状況について

- 不安定な金融情勢を踏まえ、資金の早期確保により有利子負債増
- 09年度所要資金の確保はほぼ目処がついた
- 長期的には有利子負債の削減を図り、財務体質強化に取り組む

(単位:百万円)

	2007年12月期		2008年12月期	
		構成比		構成比
短期性負債	31,035	56.8%	33,735	55.5%
短期借入金	27,300	49.9%	28,540	47.0%
長借(年内)	3,620	6.6%	5,145	8.5%
社債(年内)	115	0.2%	50	0.1%
長期性負債	23,631	43.2%	27,002	44.5%
社債	5,050	9.2%	120	0.2%
長期借入金	18,581	34.0%	26,882	44.3%
有利子負債	54,666	100.0%	60,737	100.0%

アルパインCBの期中償還を
シンジケートローン(7年)による
資金調達により実施

金融情勢が先行き不透明な
ことから安定資金確保のため
長期借入金調達を増やす

総資産	105,913		108,489	
負債比率	51.6%		56.0%	

(参考)

現金及び預金	7,284		14,851	
営業キャッシュフロー	2,801		6,147	

主な施設開発の動向

■ 販売用として取得した施設開発不動産のうち未稼働は63億円

■ 有利子負債の10分の1、営業キャッシュフロー程度

(単位:億円)

開発名称	土地 建物	投資 残高	使用顧客		完成時期	利回り
① 京田辺(京都)	7,920 11,369	37	賃貸中	酒造業	07年4月	8.1%
② 入間(埼玉)	7,930 7,930	30	賃貸中	陸運業	08年1月	7.6%
③ 野田/木野崎	6,977 11,000	30	自社使用	家具・生活雑 貨小売業	09年3月 建設中	7.0%
④ 川越(埼玉)	9,881 12,118	50	自社使用	百貨店、ホー ムセンター等	07年9月	6.7%
⑤ 横浜/長津田	12,500 —	30	未定	未定	未定	
⑥ 芝山(千葉)	33,954 —	3	未定	未定	未定	
⑦ 野田/吉春	4,600 —	8	未定	未定	未定	
⑧ 横浜/幸浦	4,776 —	22	未定	未定	未定	
合計	100,462 51,486	210				

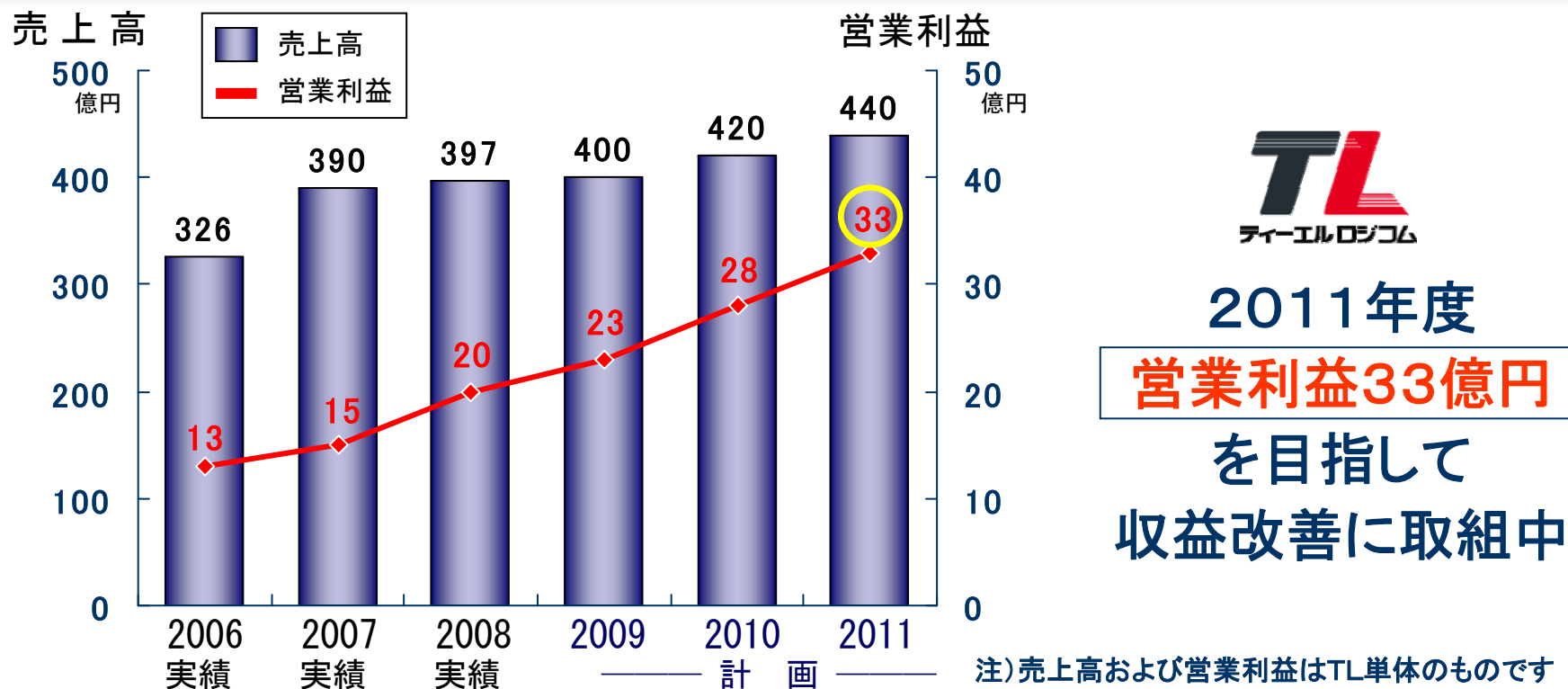
稼働済・予定
物流施設
合計 147億円

未稼働
施設開発用地
合計 63億円

注)③野田/木野崎は、09年3月下旬の竣工までにあと20億円の投資を予定している

TLロジコムでの収益改善事例

SBS



2011年度

営業利益33億円

を目指して
収益改善に取り組中

<ティーエルロジコム株式会社>

沿革：1940年相鉄運輸として創立、1985年東証2部上場、2002年東急ロジスティックへ社名変更、**2005年6月TOBでSBSグループ入り**

売上高：397億円、従業員数：1,422名(2008年12月末現在)

事業所：関東を中心に東北、上海(中国)などに73拠点

事業：3PL・センター物流・倉庫・流通加工・運輸・通運・国際物流等

位置付：SBSグループの総合物流分野のコア会社

グループ全体の物流事業業績推移

■物流の利益は確実に向上、2010年度は3%以上を狙う

